



見分森

第551号

2017年
10月19日(木)

発行: 学校法人協和学院 水沢第一高等学校 (文責: 藤沢)

多くのご来場者を迎え、一高祭大盛況

九州豪雨等自然災害が多く、また東日本大震災発生から6年半がたった今年、誰もが「平和」や「安全」を願っている。この願いを叶えられる「力」や「笑顔」「希望」に満ちた一高祭・学校にしたいという思いで設定した「Hopefull」のテーマで開催した一高祭。

10月7日(土)・8日(日)の2日間、多くの方にご来場いただきました。初日は雨天にもかかわらず来場者数1,334名。2日目は2,059名、計3,393名(前年比+923名)の方にご来場いただきました。例年を大きく上回ったご来場者数に、駐車場の車誘導、受付のスリッパ確保、食堂の接待等それぞれの部署で苦勞が多かったとは思いますが、それぞれ工夫し、多くの方々に楽しんでいただくことができました。

「平和」と「希望」の願いを込めてピースサインで日本を囲んでいるデザインにした三校合同モザイクアート制作、生徒・教職員対象のプレみずいち食堂をはじめとして、各クラスのオブジェ制作や教科展示の作品制作、クラブ発表練習等、生徒会執行部を主軸に準備段階から皆協力して取り組んでいる姿が随所で見られました。それが盛況の源になったのでしょう。食堂食券売上も生徒・教職員対象プレ食堂含みで1,376,750円となりました。

文化委員長の那須川絢也さんは「今年の一高祭の来校者は昨年を1,000人近く上回るという過去最高の人数を記録しました。みずいち生の普段の頑張りが地域の方々に伝わった結果だと思います。『HOPEFUL』というテーマ通りに多くの人に希望を与えることができたと思います。有難うございました。」と話してくれました。



《校訓》「神清智明(しんせいちみょう)」「松操竹節(しょうそうちくせつ)」「衆心成城(しゅうしんしろをなす)」

心は清く賢明で、確固たる信念を持ち、心一つにすれば何事も成せる。

『教育の精神』 教えることは教えられることだ 育てることは育てられることだ

生徒と教師の間に この緊密な関係が成り立つとき はじめて「教育」というステージの 幕が開かれる
子どもから学びながら 父母や地域に支えられながら はじめて「学校」という豊かなドラマが 進行する

『教育目標』 人間の尊厳を自覚しそれを貫く人間 いかなる困難にもうちかって、自主的に生きる人間
正しい知識と技術を身につけた人間に育てること

水沢第一高等学校の教育(共育)の考え方・土台は、この校訓と精神です。



行事予定

10 月		
20	金	スイミング東北大会
21	土	数学検定 2プラザアテルイ創業祭(ダンス)
22	日	
23	月	T2インターンシップ
24	火	日本音楽発表会
25	水	
26	木	入試説明会 3年生被災地ボランティア
27	金	3年生被災地ボランティア
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	
11 月		
1	水	生徒会役員選挙
2	木	
3	金	文化の日
4	土	
5	日	英検(二次)
6	月	
7	火	
8	水	生徒会役員選挙・引継式
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	珠算・電卓実務検定
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	後期中間考査
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	



水沢第一高等学校<問い合わせ・連絡先>

☎0197-24-6171(事務室) ☎0197-24-6173(職員室)

Eメール: kyouwa@mizuichi.ed.jp

「食生活改善のための講習会」で調理科生徒講師担当

9月27日(水)午後、岩手県南振興局の健康経営の取り組みの一環としての「食生活改善のための講習会」が県奥州地区合同庁舎で行われ、調理科3年生が講師を務めてきました。当日はレシピを調理科が考案しプラザイン水沢が調製した「みずいち弁当」を職員の方に試食していただき、日頃の食事の振り返りや食生活改善の啓発と自分たちの活動を紹介する「食育の取り組み」をプレゼンテーションしてきました。松島玲実さんは「私自身、最初はおかしいお弁当についてよく知りませんでした。しかし、減塩レシピの考案や商品化をすすめるうちに、おもしろさを意識して作る難しさや大切さを知りました。今回の講演は、水一がプロデュースしたお弁当を通して減塩・適塩について興味を持っていただける良い機会になりました。これを機に、水一を中心として地域の食育活動がさらに活発になればよいと思いました。」と話してくれました。



私学の魅力・私学助成をアピール！

10月9日(月・祝)、「第13回私学フェスティバルin北上」が、アメリカンワールド駐車場を会場に開催されました。県内他私学の高校生とともに、ダンス同好会がダンスを披露したり、生徒会執行部がMCや学校紹介を堂々と発表したりしていました。また私学助成の署名への協力を大きな声で道行く人に呼び掛けたりもし、水一の魅力をアピールしていました。



進路達成おめでとう！

＜進学＞ 盛岡大学(文学部) 上野法律専門学校(法律行政学科) 東北外語観光専門学校(英語科) 盛岡医療福祉専門学校(柔道整復学科)2名 北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ(高度製菓衛生師科) 北日本医療福祉専門学校(介護福祉科) 専門学校青山ファッションカレッジ(ファッションビジネス)
 ＜就職＞ デザントアパレル(株)水沢工場(スポーツウェア製造) (株)緑水亭(湯緑水亭(売店係) 岩手ふるさと農業協同組合(一般職) (株)ホンダカーズ岩手南(株)(整備士) (株)藤井工務店(型枠大工見習) (株)ケー・アイ・ケー(技能職) (株)源吉兆庵(菓子販売) 花菱縫製(株)江刺工場(生産オペレータ) 東京エレクトロンソリューションズ(株)(製造) (株)フジキン(技能) (有)片山商店(調理見習) (株)天乃屋岩手工場(生産包装員) 六三ビジネスフォーム(株)(オペレータ) (株)にしけい(空港保安検査員) (株)つばめ(接客・調理) 日本料理新茶家(調理)

「奥州市水沢産業まつり」・「JAまつり大収穫祭」で大活躍

10月14日(土)・15日(日)に、水沢公園で「奥州水沢産業まつり」、産直来夢くんで「JAまつり大収穫祭2017」が行われ、調理科生徒の有志とクッキング部がそれぞれ「みずいち弁当」の販売やジャンボ鍋の調理・配膳、「みずいちぱっつ」の販売をしてきました。圧巻の直径3.5メートル重さ5tの日本一のジャンボ鉄鍋で作った6,000人分もの芋の子汁の振舞いも。ジャンボ鍋に参加した及川楓さんは「日曜日に水沢公園で行われたジャンボ鍋のお手伝いに行ってきました。10mはありそうなまな板で下準備を行い、日本一大きな鍋で芋の子汁を作り、地域の皆さんに振舞いました。湯気に涙を流す人が続出して大変でしたが、美味しく作れました。来年もあるので後輩の皆さんもぜひ参加してみてください。」と話してくれました。



各部の活躍

☆バレー部 選手権大会北奥地区予選 女子 予選ブロックリーグ：vs岩谷堂 勝 vs専北 勝 1位リーグ：vs北上翔南 勝 vs水商 敗 地区2位通過！
 ☆バスケットボール部 県選抜地区予選 男女県大会に通過
 男子 1回戦 vs水農・前沢 75：59勝 女子 1回戦 vs金ヶ崎 65：60敗 敗復1回戦 vs岩谷堂 76：59勝 敗復代表決定戦 vs専北 95：62勝
 ☆サッカー部 県選手権大会 vs大船渡 0：6敗
 ☆テニス部 県高校新人大会 男子 団体：1回戦vs一関高専 敗 敗復1回戦：vs盛南 敗
 ☆陸上部 東北新人大会 男子 ハンマー投：千葉源大 5位 砲丸投：馬場北斗 7位 女子 ハンマー投：山本琳4位
 国民体育大会 少年男子B砲丸投：馬場北斗5位！
 ☆クッキング部 南小おやじの会 はっと講習 JAまつり大収穫祭参加 ☆軽音楽部 福祉の森秋祭り参加 ☆邦楽部 奥州市民芸術祭参加

教育相談日

毎週火曜日 が 教育相談日となっており、スクールカウンセラーの高橋昇先生が教育相談室(保健室隣)にいらっしゃいます。相談対応は 原則8:45～16:45までの1時間、予約制です。相談のご希望がある場合には、担任または養護教諭(及川志保先生)にお話してください。相談日時を調整のうえ、ご連絡いたします。生徒の皆さんはもちろん、保護者の方のみの相談も受け付けております。お気軽にご連絡ください。